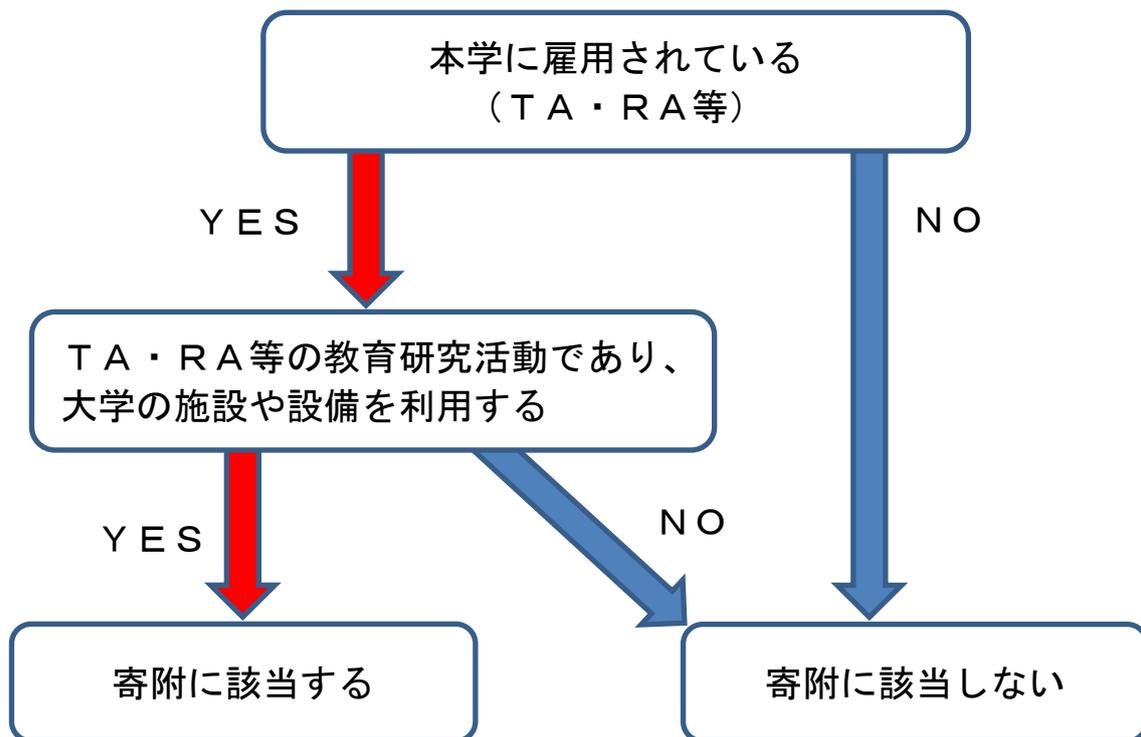


～助成金等を申請する際の注意事項～  
＜本学に雇用されている学生（TA・RA等）が対象＞

下記フローで「寄附に該当する」となった学生は、採択された助成金等を大学（指導教員等）で管理する必要がありますので、以下の点に注意し、必要な手続きを行って下さい。

1. 申請前に必ず指導教員の上承を得ること。
2. 申請書と公募要領の写しを、指導教員を通じて、研究協力課寄附金担当へ提出すること。
3. 採択・不採択に関わらず、指導教員を通じて、研究協力課寄附金担当へ連絡すること。
4. 採択された場合は、指導教員を通じて、研究協力課寄附金担当へ寄附の申込みをすること。



【この件に関する問い合わせ先】

学術研究協力部 研究協力課 寄附金担当  
E-mail : kyoryoku@mail.admin.saga-u.ac.jp  
電話 : 0952-28-8722

※表彰については大学への申請書等の複写提出は不要です。

一般財団法人丸文財団  
研究業績表彰

## 表 彰

2014年7月

### 一般財団法人丸文財団 研究業績表彰 候補者推薦要領 第18回 (2014年度)

#### 1. 趣 旨

日本国内の大学または公的研究所等の研究機関において、科学技術の進歩並びに次世代の産業創出に貢献が期待される研究で、顕著な業績を挙げつつある研究者を奨励表彰するものです。独創的な研究に意欲的に取り組み、将来的に研究交流にも寄与することが期待される国内外の研究者の推薦を歓迎します。

#### 2. 対象技術分野

原則として以下のエレクトロニクス関連分野を表彰対象とします。

- ① 集積デバイス技術・LSI システム
- ② 光エレクトロニクス
- ③ 先端デバイスおよび材料
- ④ エネルギー・環境エレクトロニクス
- ⑤ バイオ・医用エレクトロニクス

#### 3. 表彰候補者資格

上記2の対象技術分野に従事する研究者(国籍は問わない)で、以下の条件を満たす方

- 1) 2015年3月31日現在で、原則として40才以下であること  
(ただし、特別な理由がある場合は45才以下でも可)
- 2) 原則として、以下のいずれかに該当する研究成果を挙げていること
  - ① 学術上の優れた発見をなし、科学・産業技術分野に貢献することが期待される研究
  - ② 技術上の顕著な発明をなし、科学・産業技術分野に寄与することが期待される研究
  - ③ 技術上の重要な問題解決をなし、科学・産業技術の進歩に貢献することが期待される研究

#### 4. 表彰内容

- 1) 表彰総額：700万円以内
- 2) 表彰件数：3件
  - ① 丸文学術賞…………… 1件
  - ② 丸文研究奨励賞…………… 2件

#### 5. 推薦手続

- (1) 推薦者：原則として、以下のような候補者の属する機関の長、またはこれに準ずる方
  - ① 大学においては、学科長、学部長または研究所長等(直接の指導教官でも可)
  - ② 公的研究機関等においては、研究機関の長または研究部長等

(2) 推薦件数:

推薦者1名につき、推薦数は1件

(ただし、前年度の候補者(備考②)がある場合は、計2件を限度とします。)

(3) 推薦方法:

「研究業績表彰候補者推薦書」を事務局あてに提出

6. 推薦依頼期間

2014年7月1日(火) : 受付開始

2014年10月31日(金) : 締切(必着)

7. 選考方法

本年度(備考①)および前年度の候補者(備考②)を対象とし、選考委員会で選考し理事会で決定します。

選考委員長 : 榊 裕之 (豊田工業大学学長)

副委員長 : 堀越 佳治 (早稲田大学教授)

選考委員 : 浅田 邦博 (東京大学教授)

選考委員 : 荒川 泰彦 (東京大学生産技術研究所教授)

選考委員 : 石原 宏 (東京工業大学名誉教授)

選考委員 : 平本 俊郎 (東京大学生産技術研究所教授)

選考委員 : 森 勇介 (大阪大学大学院工学研究科教授)

備考:

① 本年度の候補者について

本年度受賞者に選考されなかった場合、次の年度に限り再度選考対象候補者とします。

② 前年度の推薦候補者(受賞者を除く)について

追加すべき顕著な業績、その他変更および異動等があれば、選考の資料としますので、その旨を前年度の推薦書(写)に加筆修正し、当財団あてに送付して下さい。

研究内容やその他大きな変更のある場合は、今年度の新規候補者として推薦しても結構です。ただし、同一候補者が2年続けて新規推薦を受けた場合は、原則として次の年度は選考対象としません。

8. 結果の通知及び贈呈式

① 結果の通知 : 2015年1月末まで(推薦者および本人あて)

② 贈呈式 : 2015年3月(賞金および記念品の贈呈)

9. 研究報告

受賞者には、贈呈式で研究業績の発表をしていただきます。

10. 推薦書等の送付先および連絡先

東京都中央区日本橋大伝馬町8番1号 丸文ダイヤビル8階(〒103-0011)

一般財団法人丸文財団

専務理事・事務局長 丸川 章

電話 : 03-3661-1881

FAX : 03-3808-2959

URL : <http://www.marubun-zaidan.jp/>

助 成

2014年7月

一般財団法人丸文財団  
交流研究助成 候補者推薦要領  
第18回 (2014年度)

1. 趣 旨

日本国内の大学または公的研究所等の研究機関(以下、「当該研究機関」という)に海外から日本に来て研究している外国人及び日本から海外へ行く日本人研究者の交流研究、または共同研究等に参加する若手研究者の研究費等を支援助成するものです。

2. 対象技術分野

原則として以下のエレクトロニクス関連分野を助成対象とします。

- ① 集積デバイス技術・LSI システム
- ② 光エレクトロニクス
- ③ 先端デバイスおよび材料
- ④ エネルギー・環境エレクトロニクス
- ⑤ バイオ・医用エレクトロニクス

3. 助成候補者資格

上記2の対象技術分野に従事する研究者および大学院生(博士課程後期)で、以下の条件を満たす方

- 1) 2015年3月31日現在で、35才以下の方  
(ただし、特別な理由がある場合は40才以下でも可)
- 2) 助成期間中(2015年4月1日から2016年3月31日まで)に、次のいずれかに該当し、本交流研究助成の必要度が高く、助成により研究進展が期待できる方
  - (A) 当該研究機関が、交流研究および国際共同研究等で、海外から受入れる外国人研究者および大学院生で、以下の条件を満たす方
    - ① 国際共同研究等で受入れる場合は、助成期間内に同一研究者が同一研究目的で、連続または累計で、受入期間が3ヶ月以上であり、受入元責任者の推薦を受けることが可能な方
    - ② 日本国内の大学院博士課程後期に在籍している方  
(ただし、特別な理由がある場合は、大学院前期課程に在籍し博士課程後期進学予定の方も可)
    - ③ 同一研究が複数年に跨る場合は、次年度も引き続き交流研究助成を申請できる。その場合は初年度の研究成果により次年度の助成を決定する。
    - ④ 過去に当財団より交流研究助成を受けた研究者も資格条件を満たせば再度申請ができる。
  - (B) 当該研究機関が、交流研究または共同研究等の目的で、海外の他の研究機関等へ派遣する日本人研究者および大学院生(博士課程後期)で、以下の条件を満たす方
    - ① 共同研究等で、国外の研究機関等に派遣する場合は、助成期間内に同一研究者が同一研究目的で連続または累計で、派遣期間が3ヶ月以上であり、受入先責任者の同意があり、

派遣元責任者の推薦を受けることが可能な方

- ② 海外の大学院博士課程に学位取得等の目的で派遣する場合で、受入先大学院の同意があり、派遣元責任者の推薦を受けることが可能な方
- ③ 同一研究が複数年に跨る場合は、次年度も引き続き交流研究助成を申請できる。その場合は初年度の研究成果により次年度の助成を決定する。
- ④ 過去に当財団より交流研究助成を受けた研究者も資格条件を満たせば再度申請ができる。

#### 《海外研究特別奨励》

助成候補者が年齢 30 歳以下で、当該派遣が研究者としての将来に特に重要であると判断できる場合は、《海外研究特別奨励》の上乗せ申請が可能です。

#### 4. 助成内容

- 1) 助成金総額: 1,800 万円
- 2) 採択件数: 約 15 件程度 (1 件につき上限 150 万円)  
※海外へ派遣される日本人研究者の場合は、《海外研究特別奨励》の上乗せ助成により、助成金総額は最高 300 万円になります。
- 3) 助成期間: 原則として 2015 年 4 月 1 日から 1 年間 (多少の期間変更は可)

#### 5. 推薦手続

##### (1) 推薦者:

- 1) 大学においては、学科長、主任教授等(直接の指導教官でも可)
- 2) 公的研究機関においては、研究室長または研究部長等

##### (2) 推薦件数:

推薦者1名につき、推薦数は1件

##### (3) 推薦方法:

以下の書類を事務局あてに提出

- (A) 研究者等の招へい: 様式-A 「研究交流助成候補者推薦書 海外からの招へい」  
「研究交流助成申請書」(候補者本人記載)
- (B) 研究者等の派遣: 様式-B 「研究交流助成候補者推薦書 海外への派遣」  
「研究交流助成申請書」(候補者本人記載)

#### 6. 推薦依頼時期

- 2014 年 7 月 1 日 (火) : 受付開始  
2014 年 10 月 31 日 (金) : 締切 (必着)

## 7. 選考方法

助成受給者は書類審査の後12月初旬に開催される当財団の選考委員会で選考し、理事会で決定します。

- 選考委員長： 榑 裕之（豊田工業大学学長）
- 副委員長： 堀越 佳治（早稲田大学教授）
- 選考委員： 浅田 邦博（東京大学教授）
- 選考委員： 荒川 泰彦（東京大学生産技術研究所教授）
- 選考委員： 石原 宏（東京工業大学名誉教授）
- 選考委員： 平本 俊郎（東京大学生産技術研究所教授）
- 選考委員： 森 勇介（大阪大学大学院工学研究科教授）

## 8. 結果の通知および助成金交付等

- (1) 結果の通知：2015年1月末まで(推薦者および本人あて)
- (2) 助成金の交付：2015年3月末まで
- (3) 贈呈式：2015年3月

## 9. 成果報告

助成受給者は助成期間終了後すみやかに所定の成果報告書を提出して頂きます。

## 10. 推薦書等の送付先および連絡先

東京都中央区日本橋大伝馬町8番1号 丸文ダイヤビル8階（〒103-0011）  
一般財団法人丸文財団  
専務理事・事務局長 丸川 章  
電話：03-3661-1881  
FAX：03-3808-2959  
URL：http://www.marubun-zaidan.jp/

**※推薦書様式等は、丸文財団ホームページからダウンロードしてください。**

## 国際交流

2014年1月

一般財団法人丸文財団  
**国際交流助成 候補者推薦要領**  
第18回 (2014年度)

### 1. 趣旨

産業技術分野ならびにその関連分野における、国内外の若手研究者の研究交流活動を支援助成することを目的とし、国内および国外で実施される国際シンポジウム、国際会議および国際共同研究等への参加費(登録料)、海外旅費等を助成するものです。

### 2. 対象技術分野

本年度は、原則として以下の技術分野を助成対象とします。

- ① 集積デバイス技術・LSI システム
- ② 光エレクトロニクス
- ③ 先端デバイスおよび材料
- ④ エネルギー・環境エレクトロニクス
- ⑤ バイオ・医用エレクトロニクス

### 3. 助成候補者資格

上記2の対象技術分野に従事する研究者・大学院生(国籍不問)で、応募に際して所属長の推薦が得られ、以下の条件を満たす方。

1) 2015年3月31日現在で、35歳以下の方

(ただし、特別な推薦理由がある場合は40歳以下でも可)

2) 次のいずれかに該当し、本助成により、顕著な研究交流成果を期待できる方

- ① 国外で実施される国際研究交流学会等に参加する国内の大学または公的研究機関等に在籍する研究者で、原則として、国際研究学会等において研究論文を発表する方(研究者等の派遣)
- ② 国内で実施される国際研究学会等に参加する、国外の大学または公的研究機関等に在籍する研究者等で、国際研究学会等において研究論文を発表する方(研究者等の招へい)

### 4. 助成内容

1. 助成総額: 600万円(1件につき上限20万円)
2. 採択件数: 約35件
3. 対象期間: 原則として、1年を4期に分けて、第1期分は4月から6月の渡航予定分、第2期分は7月から9月の渡航予定分、第3期分は10月から12月の渡航予定分、第4期分は1月から3月の渡航予定分とする(下記参照)

4. 公募期間：通期。ただし、対象期間に応じて応募締切を設定(下記参照)

■ 募集対象期間および応募締切

2014年度	募集対象期間(国際会議参加時期)	応募締切
第1期	2014年4月1日～6月30日	2月1日
第2期	2014年7月1日～9月30日	5月1日
第3期	2014年10月1日～12月31日	8月1日
第4期	2015年1月1日～3月31日	11月1日

5. 応募方法

推薦者による応募(助成候補者自身による応募は認めない)

推薦手続等は以下の方法

1) 応募条件

すでに当該国際会議へ投稿応募済みであること

国際会議参加(渡航)時期が募集対象期間であること

2) 推薦書

以下の書類を事務局あてに提出

① 研究者等の派遣：様式-A「国際交流助成候補者推薦書 国際共同研究・国際研究集会へ派遣」

② 研究者等の招へい：様式-B「国際交流助成候補者推薦書 国際研究集会・国際共同研究に招へい」

3) 推薦者

① 研究者等の派遣：大学においては、主任教授、学科長または指導教授等、公的研究機関においては、研究室長または研究部長等の派遣元責任者

② 研究者等の招へい：招へい研究者等の受入れ責任者で、上記①の推薦者に準ずる方または国際研究集会等の実施責任者

4) 推薦件数

推薦者1名につき、推薦数は1件

5) 推薦締切

4期に分けて募集対象期間を設け、それぞれに応募締切を設定

(上記の募集対象期間および応募締切を参照)

発表論文の採択通知を添付のこと。未着の場合は、後日必ず送付のこと

6. 選考方法

選考委員会で選考し、理事長が決定します。

選考委員長： 榊 裕之 (豊田工業大学学長)

専任選考委員： 堀越 佳治 (早稲田大学教授)

7. 結果の通知及び助成金交付

- ① 結果の通知: 出発日の約1ヶ月前まで(推薦者および本人あて)
- ② 助成金交付: 随時

8. 成果報告

国際研究学会等への参加後、速やかに所定の成果報告書を提出。

9. 推薦書等の送付先および連絡先

東京都中央区日本橋大伝馬町8番1号 丸文ダイヤビル8階 (〒103-0011)

一般財団法人丸文財団

専務理事・事務局長 丸川 章

電話 : 03-3661-1881

FAX : 03-3808-2959

URL : <http://www.marubun-zaidan.jp/>

**※推薦書様式等は、丸文財団ホームページからダウンロードしてください。**